

北海道支部ニュース 第48号

日本分析化学会 北海道支部 2013年12月



那須 淑子 先生 「瑞宝中綬章」受章に寄せて

森田みゆき

平成 25 年秋の叙勲において、本支部会参与(元北海道支部長:北海道教育大学名誉教授)那須淑子先生が、瑞宝中綬章を受章されました。

先生は、昭和 26 年に北海道大学理類に入学され、理学部化学科に進まれ、昭和 35 年に北海道大学理学研究科博士課程で理学博士を取得されました。その後も、一貫して「天然水中の微量物質の分離分析」に関する研究を各種の光分析法やクロマトグラフィーなどを用いて行い、時代とともに変遷発展してきた分析技術における検出限界、未検出イオン種への分析範囲拡大を、錯体化学やメンブランフィルターの新手法を用いて実現されました。この分析化学的手法を駆使し、温泉水、河川水等を対象として水圏の地球化学的研究を行い、貴重な多くのデータと新しい分析方法を時代の要請に合わせて世に示されました。その成果は、学術論文及び分析化学、地球化学の実験書や教科書として発表されています。また、高校の実験による化学の教科書「PAC化学」は現在も教

育界で高い評価を得ています。

那須淑子先生は、昭和 35 年4月北海道大学助手理学部に採用され、昭和 39 年6月北海道学芸大学助教授札幌分校に昇任され、昭和 41 年4月国立学校設置法の一部を改正する法律により北海道教育大学助教授札幌分校と名称変更になり、昭和 53 年4月同大学教授に昇任されました。北海道教育大学に 31 年 10 月在職され、北海道の化学教育や分析化学の研究・教育に貢献し、専門の分析化学及び地球化学分野での研究と教育を通して多くの業績と優秀な人材を世に送り出しました。

その後も、道都大学の教授として、道内の教育に貢献されました。一方、北海道教育大学の代議員として高い識見と広い視野のもとに北海道教育大学の運営に多大な貢献をされました。

さらに、日本分析化学会北海道支部長および本部理事として日本分析化学会ならびに同北海道支部の発展に貢献され、後進の指導にもあたられておりました。また、昭和 59 年からは北海道内水面漁場

管理委員会、昭和 62 年6月から平成4年3月まで北海道温泉審議会、平成4年6月からは北海道自然保全審議会の専門委員を歴任しており、学会及び社会に大きく貢献されました。平成7年 11 月に北海道産業貢献賞を、平成8年2月に北海道分析化学功労賞を受賞されたことは、那須淑子先生の学会及び社会的活動の成果

の重要性を示すものです。

こうした長年の公職ならびに学会への貢献が評価され、今回の受賞となりましたこと、心よりお喜び申し上げるとともに、今後ますますのご健勝と一層のご活躍を祈念いたします。

(北海道教育大学札幌校
もりた・みゆき)

北海道分析化学各賞の 受賞者決まる

北海道分析化学賞

谷 博文 先生

同奨励賞

該当者なし

同功労賞

高橋 英明 先生
(旭川工業高等専門学校)

嶋津 克明 先生
(北海道大学大学院地球環境科学研究院)

2013年度 北海道分析化学賞・功労賞授賞式 受賞記念講演会

- 主催** (公社)日本分析化学会北海道支部
期日 2014年1月29日(水)16:45~17:20
会場 北海道大学学術交流会館小講堂(札幌市北区北8西5)
- ◆ 授賞式 (16:45~17:00)
 - ◆ 受賞講演 (17:00~17:30)



「分子集合体を利用した分析化学」(北大院工)谷 博文

参加費 無料

お問い合わせ 〒061-0293 石狩郡当別町金沢 1757 北海道医療大学薬学部内
公益社団法人日本分析化学会北海道支部 2013年度支部長 黒澤 隆夫
▶電話 0133-23-1266 ▶E-mail jsac-hb@w9.dion.ne.jp (北海道支部事務局)

※事前申し込みは不要です。お誘い合わせの上、是非お越しください。

これからの行事予定

第49回氷雪セミナー



主催 (公社)日本分析化学会北海道支部

期日 2014年1月11日(土)13:00開始
12日(日)12:00終了

会場 かんぼの宿小樽
(小樽簡易保険加入者ホーム)
小樽市朝里川温泉 2-670
電話:0134-54-8511

交通手段

JR「小樽築港駅」よりタクシー15分
JR「札幌駅西口」より無料送迎バス
(11日 11:00 発)

講演者・演題

◆奥津 哲夫
(群馬大理工学部化学・生物化学科)
『光化学反応を用いたタンパク質の結晶育成』

◆佐田 和己
(北大大学院理学研究院化学部門)
『温度応答性高分子の分子設計』
『北大リーディングプログラム: 物質科学フロンティアを開拓する Ambitious リーダー育成プログラム』

◆北川 文彦
(弘前大理工学部 物質創成化学科)
『簡易操作型電気泳動チップによる生体試料の高感度分析』

◆渡慶次 学
(北大大学院工学研究院生物機能高分子部門)
『マイクロ・ナノ流体デバイスによる分析・診断・治療への展開』

参加費(当日受付にて申し受け)

会員 11,000 円、会員外 12,000 円、
学生 8,000 円
(宿泊・懇親会費を含む)
日帰り(懇親会のみ出席)5,000 円

連絡先・幹事

〒060-0811 札幌市北区北10条西8丁目
北海道大学大学院理学研究院化学部門
喜多村 昇

▶TEL: 011-706-2697

▶FAX: 011-706-4630

▶E-mail: kitamura@sci.hokudai.ac.jp



化学系学協会北海道支部2014年冬季研究発表会

共催 日本分析化学会・日本化学会・触媒学会・電気化学会・腐食防食学会・表面技術協会・石油学会、各北海道支部

期日 2014年1月28日(火)・29日(水)

会場 北海道大学学術交流会館
(札幌市北区北8条西5丁目)

特別講演

- ◆馬場嘉信先生(名古屋大学)
「ナノ・量子バイオデバイスによる次世代がん診断・治療とiPS細胞再生医療」

事前参加登録申込締切

2014年1月7日(火)

参加登録費

【事前登録(1月7日迄に払込分)】

共催学会員:一般 2,000円
非会員:一般 3,000円

【当日登録】

共催学会員:一般2,500円
非会員:一般3,500円
学生:無料

※当日の受付業務軽減のため事前登録にご協力ください。

懇親会

1月28日(火)18時より<予定>
北海道大学ファカルティハウスエンレイソウレストラン「エルム」(札幌市北区北11条西8丁目)にて開催予定。

【予約受付(1月7日迄に払込分)】

一般5,000円/学生2,000円

【当日受付】

一般6,000円/学生3,000円

参加登録・懇親会予約申込方法

webサイトにて必要事項を記入の上、お申し込み下さい。参加登録費、懇親会費は銀行振込にてご送金下さい。なお確認のため、ご送金された場合は、その旨E-mailにて実行委員会までご連絡下さい。

振込先 ゆうちょ銀行

記号:19060 番号:45629451
もしくは九〇八店、(普通) 4562945
名義:化学系学協会北海道支部
2014年冬季研究発表会

連絡先

〒060-0813札幌市北区北13条西8丁目
北海道大学大学院工学研究院生物機能高分子部門
化学系学協会北海道支部2014年冬季研究発表会実行委員会 谷 博文

▶TEL/FAX: 011-706-6743

▶E-mail: oukiken@pcat.cat.hokudai.ac.jp

▶webサイト:

<http://pcat.cat.hokudai.ac.jp/toukiken/>

※ 2014年開催分より要旨集が冊子体ではなく電子ファイルとして配布されます。

ダウンロードには参加登録に使用したメールアドレスとその際にメールでお送りした受付コードが必要です(複数名で申込みをされた場合は共通です)。

なお、ダウンロードが可能になるのは参加登録と振込が確認された後ですので、できるだけ事前参加登録を行って下さい。

これまでの終了行事報告

2013年夏季研究発表会

日本化学会北海道支部2013年夏季研究発表会が、7月20日(土)に北見工業大学で開催されました(主催:日本化学会北海道支部、共催:日本分析化学会北海道支部ほか)。

参加者は、208名でした。分野別の6会場では合計131件の口頭発表があり、いずれの会場でも活発に議論がなされました。

特別講演は、高橋 修平先生(北見工業大学工学部社会環境工学科教授)による「南極観測と地球環境」と、橋本 和仁先生(東京大学大学院工学系研究科 東京

大学先端科学技術センター教授)による「社会の期待する基礎研究—研究者としての視点と科学技術行政からの視点」でした。両先生の講演は大変に興味深い内容で、講演後には多くの質問が出され、予定終了時刻を大幅に超えたほど盛況でした。

「オホーツクビアファクトリー」で開催された懇親会は、北見の地ビールを手に、意見交換等の貴重な機会となったようです。

(北見工業大学マテリアル工学科
南 尚嗣)

第29回緑陰セミナー・旭川



本年度の緑陰セミナーが、例年とは時期をずらした2013年10月19日(土)・20日(日)の両日、旅亭雪の屋(旭川市)において一般12名、学生32名の計44名の参加のもと、4名の講師を招いて開催されました。第一日目には、岡山大学の金田隆先生による「バイオ分析化学の新展開を目指して」および株式会社ワンダーワークスの田村新吾先生による「イノベーションの散歩道」の招待講演が、第二日目には、旭川工業高等専門学校の前井亮介先生による「色彩可変高分子を利用したキラリティーの可視化」および北海道大学の渡

慶次学先生による「マイクロ・ナノ流体デバイスによる分析・医療応用—流路型バイオチップ—」の招待講演がそれぞれ行われました。

今回の招待講演では、様々な研究分野の方をお招きするのではなく、むしろそれぞれ異なるキャリアをお持ちの方々に講演を依頼し、ご自身の研究の紹介だけでなく、キャリアについてもご紹介いただくようお願いしました。参加者の多数を占める学生にとって、研究に関する刺激だけでなく今後のキャリア形成の一助になれば、との考えでしたが、講演会・懇親会を

通じて活発な議論や意見交換が行われ、こうしたお願いをした効果があったものと考えています。お引き受けいただいた講師の皆さまには心よりお礼申し上げます。

また、第一日目の夕方には10件のポスター発表も行われました。参加者による投票の結果、坂本広太君(北見工大)、花田祐紀君(北大院総合化学)、山下綾乃君(北大院地球環境)の3名が優秀ポスター

賞に選出され、記念品の贈呈が行われました(表彰状は後日送付)。

最後に、本セミナーの開催にあたりご協力とご理解を賜りました日本分析化学会北海道支部ならびに関係各位に深く感謝申し上げます。

(北海道大学大学院工学研究院
谷 博文)



第29回緑陰セミナー・旭川 (2013.10.19-20, 旅亭雪の屋)



後日表彰状を受け取った優秀ポスター賞受賞者
左から坂本君(大津先生授与)、花田君、山下君(田中先生授与)

公開セミナー



会場風景 講演をする児玉誠一氏

11月7日（木）、北海道支部公開セミナーが北海道大学大学院地球環境科学研究院において開催されました。

当日は、「燃焼-イオンクロマトグラフィーによる鉄鋼スラグ中のふっ素の定量」宇野拓也氏（日鉄住金テクノロジー㈱室蘭事業所）と「石綿含有建材の事前

調査方法・分析方法について」児玉誠一氏（北海道三井化学㈱分析センター）の2題の講演をいただきました。企業で実践的に取り組んでいる事例の紹介で、非常に興味のあるテーマの講演でしたが、参加者が20名弱と少なかったのが残念でした。もっと多くの皆さんに聴講いただきたい内容でした。

（北海道三井化学㈱ 工藤英博）

2013年北海道地区化学教育研究協議会

11月9日（土）、2013年度北海道地区化学教育研究協議会が、日本化学会および日本分析化学会北海道各支部、日本化学会教育・普及部門の共催により、北海道大学大学院地球環境科学研究院において開催されました。協議主題は「理科(化学)教育における小・中・高・大学での取り組み」で、特別講演として、戸谷義明先生(愛知教育大学理科教育講座化学分野教授)による「サービス・ラーニングによる「出前化学実験」の活動の紹介と開発した化学(科学)実験教材の実演」と題した講演と興味深く楽しい多数の演示実験が行われました。



危険を伴う実験も理論的背景をふまえて安全に行えることが示された。

--石英るつぼを用いた炎色反応--

午後には小・中・高・高専・大学の各層での化学教育に関する取り組みに関する5件の提言とそれに対する質疑応答及び自由討論が活発に行われました。参加者は53名でした。

（北海道教育大学札幌校 嶋崎悌司）



新入会のみなさん

(敬称略、順不同)

この欄では分析化学会北海道支部の転入や転出、新入会など会員に関する情報をお伝えします。次の方々の入会が認められた(「ぶんせき」誌 2013 年 6 月号～12 月号のお知らせ欄掲載分)ほか、転入及び退会の情報をお寄せいただきました。会員に関する情報をお持ちの方は、支部ニュース編集委員までお知らせください。

水谷 諒 (北見工大)

山本 浩樹 (北見工大)

山科 翔 (北大院水)

吉川 弘晃 (北大院工)

山下 綾乃 (北大院環)

大屋 光平 (北大院工)

花田 祐紀 (北大院工)

松田章太朗 (北見工大)

編集後記



遅ればせながら、支部ニュース第 48 号をお届けいたします。この度、ご多忙の中、ご執筆頂きました執筆者の皆様には、この場を借りまして厚くお礼申し上げます。特に、那須先生の瑞宝中綬章の受章に際してご寄稿いただきました森田先生には重ねてお礼を申し上げます。

今回の支部ニュース編集に際しても、多くの失礼や不手際があったかと思えます。この場を借りましてお詫び申し上げます。

来年度の支部ニュース編集は川口俊一

(北大院工学研究院、留任)および堺井亮介(旭川工業高専、新任)の二人体制で行う予定です。支部会員の皆様には次号以降も原稿の執筆をお願いすることもあるかと存じますが、その際は何とぞご協力お願い致します。また、皆様からの積極的な提言・投稿もお待ちしております。今後とも、さらによりよい形で支部ニュースをお届けできるよう尽力いたしますので、ご指導ご鞭撻いただければ幸いです。

(編集委員: 富田 恵一、川口 俊一)

北海道支部ニュース第48号

◆ 編集・発行

公益社団法人
日本分析化学会北海道支部

◆ 発行日 2013.12.30

〒061-0293 石狩郡当別町金沢 1757
北海道医療大学薬学部内
公益社団法人日本分析化学会北海道支部
支部長 黒澤 隆夫
TEL : 0133-23-1266
E-mail : jsac-hb@w9.dion.ne.jp